

2020年度業務実績報告書

提出日 令和3(2021)年1月20日

1. 職名・氏名 准教授 清水葉子

2. 学位 学位 修士、専門分野 経済学、授与機関 京都大学、授与年 1994年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 金融論（4単位）配当年次 2年生	
② 内容・ねらい 金融の基礎的な理論と、経済社会の中での金融の意義を理解する。金融の実際の制度や仕組みについて体系的に学び、理論に加えて、制度・歴史の知識の両方を深めることを目標とする	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義に際して、毎回のテーマごとに理解すべきポイントを記した「講義メモ」と、それを裏付ける具体的事実（統計資料や報道など）を集めた「資料」を配布。学生には、毎回のポイントが理解できたかどうか確認しながら受講するよう指示。2020年度の遠隔講義は、資料と録画をアップロードして、オンデマンド形式で行った。 2020年度は実務家の招聘は中止した。	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 演習Ⅰ（4単位）配当年次 3年生	
② 内容・ねらい 金融の基礎的な理解とともに、金融関連の現実的な問題を取りあげて議論。前期は主にテキストの輪読、後期は新聞や雑誌記事もとりあげ、学生にはゼミ中の積極的な発言・議論を求めている。毎年3年次後期に、「SMAP インターゼミナール・コンテスト」に参加し、グループワークとプレゼンテーションの力をつける。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 前期はテキストの輪読。後期は「課題の発見→問題意識の醸成→事実の調査→考察→結論・提言」という思考過程を辿れるよう指導。12月の「SMAP インターゼミナール・コンテスト」での研究プレゼンテーションにつなげる。 4年生が後輩に就職活動の話をする「就活体験を後輩に話す会」を毎年開催。 卒業生を招いて仕事の話をしてもらう「先輩の話を聞こう！」を不定期開催(2020年度は中止)。 2020年度は実務家の招聘は中止した。	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 演習Ⅱ（4単位）配当年次 4年生	
② 内容・ねらい 卒業論文・卒業研究について、(1)テーマ設定、(2)資料収集、(3)研究の方向の決定、(4)事前発表、(5)最終発表、(6)討論を行う。卒業研究発表は全てのゼミ生が行い、プレゼンテーション資料に基づいて1時間程度の卒業研究発表をすることを義務づける。学生が各自の関心を発展させて掘り下げた研究を行なうことを目標とする。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生の関心を発展させるよう支援を行う。卒業研究発表に向けて個別指導を行うほか、卒業論文を提出する学生にもスケジュールに沿った指導を行なった。2020年度は半分程度の学生がオンラインで卒業研究プレゼンテーションを行なった。 2020年度は、卒業研修を中止した。	

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎ゼミ（2単位）配当年次 2年生
② 内容・ねらい 経済学の基礎的な考え方を理解させるため、毎年特定のテーマをとりあげて、基礎文献→現実のテーマへと掘り下げる。 前年に続き健康保険制度を取り上げて、文献を輪読した後、保険料負担の公平性、高齢者医療制度のあり方、混合診療の是非などについて、資料検索やグループワーク、討論を行った。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 テーマ選定にあたっては、事実関係に関する資料収集がしやすく、かつできるだけ賛否が分かれるものを取りあげることで、議論を促進するよう工夫している。資料は、制度の概観ができる基礎的な文献と、経済雑誌や新聞など時事的なものを両用するよう心がけている。 2020年度は全てをリアルタイムの遠隔講義で行ったため、グループワークで十分な議論をしてもらうには限界があった。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 外書講読（2単位）配当年次 2年生
② 内容・ねらい 前年から Michael Sandel (2012), "What Money Can't Buy" にテキストを変更。政治経済学の領域で意見が分かれやすいテーマを取り上げて輪読。学生には著者の意見に対する賛否や根拠を示して議論してもらう。
③ 講義・演習・実験・実運営上の工夫 前年からグループワーク形式に戻して討論を行っているが、2020年度は遠隔授業のためグループワークに限界があった。
(2)その他の教育活動
内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり）	【 本】
③その他論文（査読なし）	
・「ロビンフッド証券のビジネスと注文回送リベートについて」（2020）『証研レポート』1722号、（公財）日本証券経済研究所	
・「アメリカの証券委託手数料無料のビジネスモデル」（2020）『証研レポート』1720号、（公財）日本証券経済研究所	
・「アメリカの市場手数料について」（2020）『証研レポート』1718号、（公財）日本証券経済研究所	【 3本】
④学会発表等	【 件】
⑤その他の公表実績 （研究会報告） 「手数料無料化の動きとペイメント・フォー・オーダーフロー」（2020.8）証券経済研究会 「リテール・ホールセラーと指値注文の価値（2020.5）証券経済研究会	【 2本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
委託研究費（20万円） （公財）日本証券経済研究所	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5. 地域・社会貢献活動

(国の委員等) 金融庁金融審議会専門委員(2020年～現在) (自治体の委員等) 福井県公益認定等委員会委員(2020年～現在) 福井県国土利用計画審議会委員(2019年～現在) 福井県入札監視委員会委員(2011年～現在) 福井県事業認定審議会委員委員(2011年～現在) (その他) (公財)日本証券経済研究所 客員研究員(2003年～現在) FBC 番組審議会委員(2013年～現在)

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
国際部会委員 オープンキャンパス委員
(3)学内行事への参加
高校むけ入試説明(北陸高校 2020年7月) 開放講義(丸岡高校 2020年12月)
(4)その他、自発的活動など
・学生の自主的な学習・研究活動を支援する有志教員の活動 SMAP(Student Motivated Alternative Program)を通じた各種活動。毎年の「逆引きシラバス」発行と、12月の「SMAP インターゼミナール・コンテスト」を通じた学生の研究プレゼンテーション支援。 ・「清水ゼミ就職活動体験を聞く会」で先輩の就職活動体験を聞く会を開催(2020年10月開催)。